



# 第12号

昭和64年1月1日

発行所

坂田郡近江町飯12-3

天の川沿岸土地改良区

☎(0749) 52-0067(代)



▲ 11月28日 起工式場で理事長式辞

▼ 同日西円寺地先で鍬入式挙行 藤井県事務所長鍬入



県宮ほ場整備事業  
東 部 南 地 区

起工式を挙行

11月28日

高生産性・近代的農業をめざして………事業は東へ



# 新年を迎えて

理事長 柏淵光夫

新年を迎えまして、謹んで皆様様に、初春を御祝ひし、賀詞を申し上げます。

旧年の改良区の諸事業も、土地改良関係者の格別なるご指導と、ご協力によりまして、円滑なる事業進捗を得まして、二工区の換地処分を終るばかりになり、また東部南地区のは場整備事業の新規採択も受けて当改良区は、計画の四地区の事業着手の運びになりました。かんがい排水事業と共に、農業基幹の二大事業完成のため撓まぬ努力と、農業確立化の再構築の使命達成の期待が託されました。この陰には、農水省、農政局、県関係者等の大変なお力添えがござ

いました。このご配慮に対しましても衷心より感謝を申しあげます。特に近時農業問題は国内外を問わず厳しい批判を受けていますが、食糧供給の重大性を鑑みて、これらの批判に迷うことなく、しっかりとした地盤形成と農地保全のために、生産性に強い農業産業としての位置を確立すべきであります。また優れた農業技術を先取りして地域経済に貢献出来る態勢づくりも必要であります。

加速度的に、土地改良を進める一方で、政策面も、地方政治の中のまちづくりと整合性をもたせて、将来展望を切り拓かなくてはなりません。現状と将来についての問

合掌

## 東部南地区蒲原工区

### 厳粛に緻入式を挙

地区民待望の東部南地区起工式が、十一月二十八日十時三十分から近畿農政局、県関係者、沢野県議など来賓多数臨席のもと、近江町保健センターで挙行されました。

これより先、九時三十分から西円寺地先、蒲ヶ原工区に於て緻入式を細野神官の司祭により厳粛に行われしました。

前日来の寒波は虚のように静まり、柔らかな日差しを受けて、斎鎌を柏淵光夫理事長、斎鎌を藤井喬長浜県事務所長、斎鎌を請負者イワムラ興業社長がそれぞれ奉仕し、工事が安全に、早期に、未永

く当地域農業の喜びとなるよう立派に完成することを祈願しました。起工式では、来賓の皆さんから祝辞と温かい激励を受けました。

### 事業計画の概要

蒲原工区 一五・九ha  
西円寺工区 二三・二ha



蒲原工区の現況

寺倉工区 三〇・三ha  
岩脇工区 一二・八ha  
番場工区 一九・六ha  
合計 一〇一・八ha

を標準区画三〇アールに区画整理を行ない、農道、用排水路を完備するもので、  
総事業費予定額一二七二百万円

のうち地元負担予定額二八八百万円(一〇アール当り約三三四千円)で残りは国庫及び県費で負担することになります。地元負担については全額を農林漁業金融公庫資金を借入れ(五年据置二〇年均等償還)ます。事業完了は昭和六十八年の予定です。  
今回、蒲原工区の関係の皆さん

の熱意が実り着工の運びとなりました。工事の順調な進行を期待するものです。

### 蒲原工区は場整備組合 役員名簿

- |       |       |
|-------|-------|
| 組合長   | 小川 三郎 |
| 副組合長  | 西村 幸男 |
| “     | 西野 庄一 |
| “     | 山村 真一 |
| 会計    | 北川 一男 |
| 換地委員長 | 清水 隆徳 |
| (副)   | 田辺 喜市 |
| 委員    | 中田 嘉和 |
| “     | 北川 英一 |
| “     | 西村 正治 |
| “     | 西野 庄一 |
| “     | 山村 歌  |
| “     | 奥田 謙一 |
| “     | 奥田 謙一 |
| “     | 堤 正一  |
| “     | 山田 一男 |
| “     | 山路 捨三 |
| “     | 山田 隆吉 |
| “     | 中山 義信 |
| “     | 奥田 謙一 |
| “     | 山村 真一 |
| “     | 北川 長作 |
| “     | 布施 守彦 |
| “     | 小川 長七 |
| “     | 前川 八郎 |
- (以下 次頁下段へ)

お祝いのごとば

生産性の向上  
生産コストの低減を

近畿農政局建設部長  
福岡 忠 宏 殿

本日ここに、滋賀県営圃場整備事業天の川東部南地区の起工式が関係者多数のご出席のもと、盛大に行われますことを心からお慶び申し上げます。

日頃皆様方には地域の農業基盤整備事業の推進のため格段のご尽力、ご協力を賜っておりますことに對し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、農業は食糧の安定供給をはじめ、健全な地域社会の形成、国土・自然環境の保全など重要な役割を果たしております。しかしながら、今日の農業を巡る情勢は、米をはじめとする各種農産物の需給の不均衡、諸外国からの農産物の一層の市場解放要求などの諸問題に加え、内外価格差の是正、農業保護の在り方などにつき強い関心が寄せられております。

れた国土条件のもとで最大限の生産性の向上、生産コストの低減を図っていくことが一層重要な課題となっております。

農林水産省では、このため各種の施策を講じているところであります。先ほどは現地に於て、天の川東部南地区は場整備事業の輸入式をとおこりなく終えられ、またここに起工式を挙行されるに当り一言お祝いの言葉を申し上げます。

このような状況のもと今後の我が国の農業は、水田農業の確立を中心とする、土地利用型農業の構造政策の強力な展開により、限られた圃場整備事業を実施しておりますが、この度、天の川東部南地区の耕地一〇一・八ヘクタールについても圃場整備事業に着手されますことは誠に意義深いものがあります。事業の実施に際しましては困難な問題もあらうかと存じますが、滋賀県当局をはじめとする関係機関のご指導と、関係の皆様の熱意と協力のもと円滑に事業が実施され、立派な圃場で生産性の高い農業が展開される日の一日も早いことを心から期待するものであります。

とを心から期待するものであります。農政局におきましてもご期待に添い得るよう、鋭意取り組んで参りたいと存じているところであります。最後にになりましたが、今日まで

農業は県政発展の基盤

迅速な実施を

滋賀県知事 稲葉 稔 殿

先ほどは現地に於て、天の川東部南地区は場整備事業の輸入式をとおこりなく終えられ、またここに起工式を挙行されるに当り一言お祝いの言葉を申し上げます。

本天の川東部南地区は近江・米原両町にまたがる天野川中流部の農用地一〇一・八ヘクタールを事業区域としております。両町においてはずでに昭和五七年度着工の天の川西部地区を始め天ノ川西部南・天の川東部地区が事業実施中であり、本地区が実施されますと、両町の大部分が、整備されることとなります。

専心ご尽力頂きました天の川沿岸土地改良区の皆様をはじめ、滋賀県、近江町並びに米原町ご当局の皆様に対し深く敬意を表しますと共にご当地のますますのご繁栄をお祈り申し上げます、私のお祝いの詞とします。

農業は県政発展の基盤

迅速な実施を

滋賀県知事 稲葉 稔 殿

では事業計画の作成から地元と協議・合意形成等、両町ご当局をはじめ地元関係役員の方々のご苦勞は大変なものがあつて、このご努力に對し深く敬意を表する次第であります。

皆様もご承知のとおり農業をとりまく情勢は、非常にきびしいものがあります。牛肉・オレシツ問題にとどまらず、米の市場解放の要求・食管制度の見直し、水田農業確立対策、農産物価格の低迷や後継者問題等どれをとりますとも一朝一夕に解決出来るものではないかもしれませんが、この課題克服に向けて、水田農業の生産性向上による低コスト化産業として自立できる農業の確立が重要であります。

北沢 重之  
田中 文一  
休耕対策委員長 松居 儀一  
(副) 田中 文一  
委員 前川 義照  
松居 孝男  
川本 徳久  
沢村 真司

役員会の構成は、正副組合長、会計、各正副委員長及び代表委員(丸岡勇吉、山本富士男、西円寺区長)を以って組織する。

ておりますし、本県におきましても今日のきびしい財政事情のもとではあります。農業を県政発展の基盤と考え、農業基盤整備などを積極的に推進しているところであります。その中にあつて本地区でもあることから一層迅速な事業実施が必要であります。

なお本事業は個人の土地にかかわる事業であり役員の方々には大変なご苦勞をかけることと存じますが、我々の子孫に伝える農地を今整備することの重要性を、皆様方とともに認識し、より良い事業実施に努力したいと存じております。

最後になりましたが、本事業の早期完成と地域のますますの御発展を心よりお祈りいたします。お祝いの言葉といたします。

◆式辞◆

早期完工により地域の発展を

理事長 粕 渕 光 夫

本日ここに多数のご来賓、並に地域関係各位の、ご臨席を賜わり、

県営天の川東部南地区は場整備事業の起工式を、盛大に挙行出来ま

先刻は現地に於きまして、関係者により地鎮め歛入式を恙なく執り

当改良区は、昭和五十四年に県

管天の川地区かん排事業を嚆矢と

今年度県営天の川東部南地区と、ご採択を受けました。ご高承のよ

今年度県営天の川東部南地区と、

この事を確認いたし、係る情勢の中

今年度県営天の川東部南地区と、

この機会に本事業推進に関係機関の方々に、今後共一層の

今年度県営天の川東部南地区と、

今年度県営天の川東部南地区と、

今年度県営天の川東部南地区と、

今年度県営天の川東部南地区と、

終りに、受益各農家の方々、事業の重要性を再認識されて将来農

◆下流部揚水機場など旧施設撤去◆

湖中取水塔・導水管も

本年度事業計画の一つとなっ

この旧施設撤去工事は、九月二十

この揚水機場への導水管と、

この揚水機場への導水管と、

この揚水機場への導水管と、

この揚水機場への導水管と、

この揚水機場への導水管と、

この揚水機場への導水管と、



ありし日の下流部揚水機場

旧大型ポンプ一基 記念物として保存

今回撤去対象となった大型ポンプ(五〇〇ミリ)とモーター(一

撤去・整地された跡地



この揚水機場への導水管と、

# 62年度一般会計収支決算状況

昭和六十二年一般会計、特別会計の決算がまとまり、八月十八日監事全員出席のもと監査を受けました。決算書類と会計帳簿の照合や証拠書類、預金残高の照合など細かくチェックの結果、業務全般にわたって正当である旨認められました。

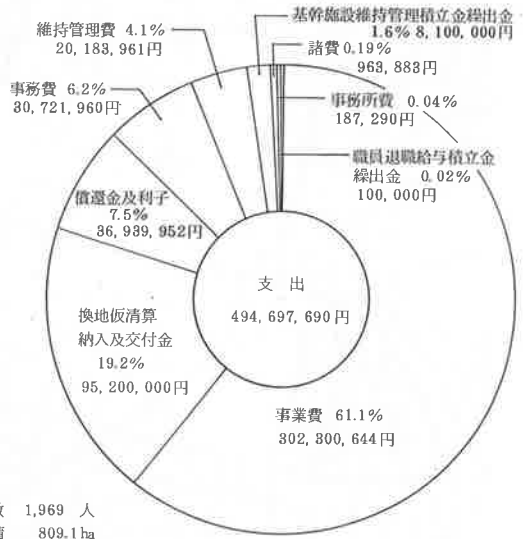
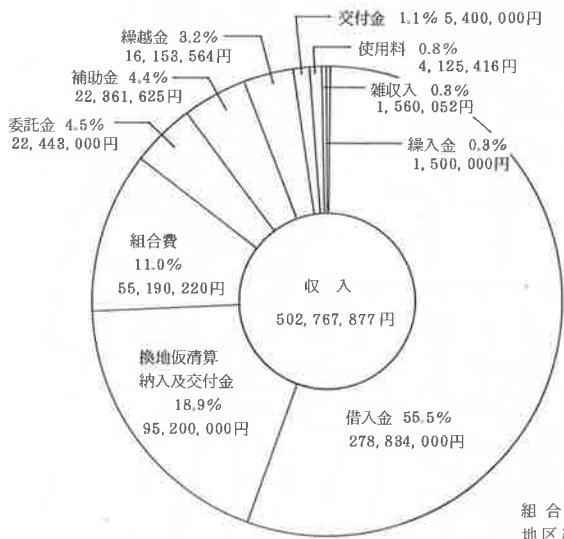
一般会計では、収入五億二七六万円、支出四億九四六九万円を差引八〇七万円を次年度繰越しとしました。賦課金徴収率では一般経常費で一〇〇%、かん排経常費で九九・九七%、他ほ場整備事業費賦課では全部一〇〇%となり良い成績で終わりました。補助金は両町から二二三六万円、借入金では、各工区の事業負担金一億九五六五万円、かん排事業地元負担金八三一八万円を農林漁業金融公庫から借入れて県へ納付しています。

支出では、事務費が予算に対し四七〇万円の減、揚水、電力費一〇七万円減、換地事務費は県から二二四四万円の委託を受けたものを地元委員・職員の賃金や事務費として全額支出、償還元利金は三六九三万円で、内訳は、かん排事業一〇八八万円、ほ場整備事業関係で二五一五万円、ほか九〇万円、換地仮精算納入、交付関係では九五二〇万円、基幹施設維持管理積立金八八〇万円などがあります。

特別会計では、農地転用決済金関係収入が国8用地県道用地への転用など大口があり一三七五万円となりこれは繰上げ償還や返済準備積立となります。

土地改良施設財産処分会計では水資源開発公団補償二五一〇万円の収入で全額繰越して旧揚水施設撤去事業費となるものです。

現在、西部・西部南・東部地区の各工区で、かん排ほ場整備事業を実施していますが、これらに要した借入金総額は、当年度返済済(特別会計分を含め)三七九八万円を差引き、七億二六七四万円となり、全額農林漁業金融公庫資金です。



組合員数	1,969人
地区総面積	809.1ha
かん排地区	747.9ha
普通地区	755.6ha
ほ場整備地区	415.1ha
(62.8.31現在)	

## 近畿農政局 運営検査実施される

8月11・12日

土地改良区運営については、たえず県や農林水産省の指導を受けながら業務を遂行していますが、本年は運営検査を受けることになり八月十一・十二日近畿農政局、吉田調査官、県庁農林部関係者三名により当事務所で実施されました。両日とも田口代表監事以下五名の監事全員が立会い、定款・規約類の内容、各会議、財産、会計経理・経費賦課徴収状況など業務全般にわたり詳細に厳しい点検を受けました。

検査の結果、講評として、全国土地改良連合会から金章受賞改良区ということで、区の運営内容は良好であるという講評を受けることができました。

指摘事項としては、規程類の内容について、字句の修正、句読点の挿入不備などを改めることや、積立金関係規程の一部不備があり早速監事会・理事会で審議し、県農林部の指導を受けて報告を終り、次期総代会に諮るべきものはその手続きをとっています。

### 64年度管送水区域各分水工範囲図

(ほ場整備内)



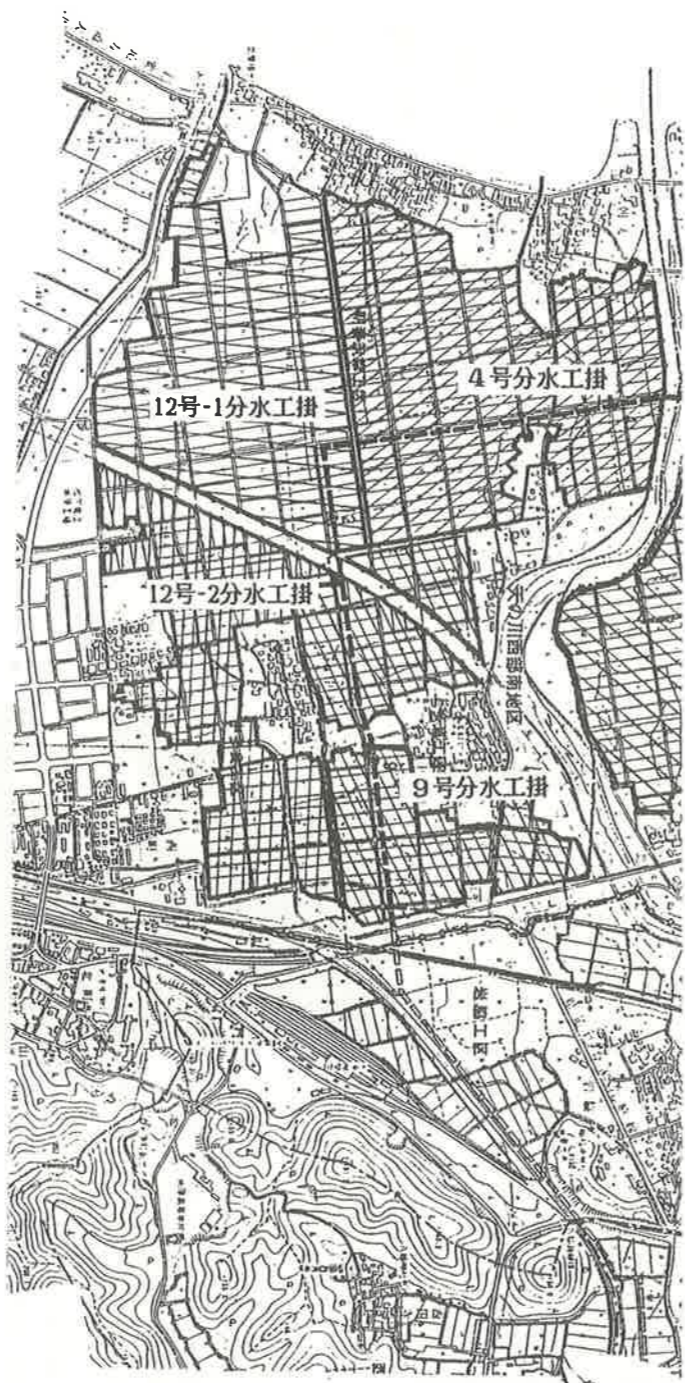
### 六十四年度 事業予算要求

六十四年度の予算編成期に合わせ、県管かん排事業、ほ場整備事業計画について、国、県へ両町と一体となり予算措置を要求し、事業の推進をはかる努力をしています。関係地区の皆さんの円滑な事業進展への一丸となった御協力をよろしくお願いします。

1. 県管かんがい排水事業
  - 事業費 五億六七一〇万円
  - (1)七〇〇ミリ揚水機一台
  - (2)北幹線水路工事 一六二〇m
  - (3)中央幹線水路工事一三八〇m
  - (4)南幹線水路工事 二〇三〇m
2. 県管ほ場整備事業
  - (1)西部地区
    - 事業費 九五四〇万円
    - (外に超過負担二〇〇万円)
    - 排水路工事(新川)二七〇m
    - 道路舗装工事 一三三〇m
  - (2)西部南地区
    - 事業費一億六九六〇万円
    - 飯JR地下道取付道工事 一式
    - 道路舗装工事 三三〇m
    - JR委託横断工事 一式
  - (3)東部地区
    - 事業費三億八一六〇万円
    - 区画整理 三〇・七ha
    - 用水路工事 一七二〇m
  - (4)東部南地区
    - 事業費一億二七二〇万円
    - 区画整理 一一・七ha

### 工区の動き 近く処分登記

宇賀野工区五十七年、朝妻筑摩工区は五十八年それぞれ着工以来組合長を先頭に、役員、組合員の皆さんの日夜にわたる完工への真摯な努力が実を結び一三〇haの美田が完成、縦横に幹線支線道路水路網が整備され近代的農村の基盤が出来上りました。最後のしめく



くりとなる換地計画決定会議が、宇賀野十一月二十二日、朝妻筑摩十二月二日に終了、清算金額も決定し、あと処分登記を三月に終るよう手続中です。

これにより名実共に地権者が確定することになります。

世継、長沢工区合計一四haは六十三年度面工事が完了、飯、上多良工区六一haも面工事が完了、また高溝・顔戸工区二六haも面工事が完了となり、それぞれ補完工事と

処分登記を残すのみとなります。これで、西部地区・西部南地区は明年度で工事完了となり、あと東部・東部南地区へ事業が移っていきます。

### 換地設計基準承認

多和田工区では、組合設立後精力的に各種作業が進められ、勉強会や打合せなど度たび開催の結果

### 評価作業本格化

換地設計基準がまとまり、十二月十二日地権者総会を開催し、承認され、いよいよ換地作業が本格化しました。早期着工が待たれます。

能登瀬工区では、地権者の熱意の盛り上がり、役員皆さんの努力が実のり、いよいよ残り工区の評価を一気に進めるべく評価作業が着々と進行しています。

### 第一工区

### 近々完成

以上各地区とも測量設計・換地費・用地費・補償費を含みます。これら事業の資金については、  
 国費 六億九七二〇万円  
 県費 三億六一七九万円  
 町費 二〇〇〇万円  
 借入金二億八一八八万円  
 で負担区分は、かん排事業はプール負担、ほ場整備事業は当該工区負担という計画です。



北縦より新庄農免道を望む

の面影を消し、全く新しく近代的な姿に生れ変わろうとしています。更に六十四年夏には新庄裏からパイパスまで二三・二ヘクタール、同年秋以降北縦沿い中学校前附近五・〇ヘクタールの施工が予定さ

# ポンプ揚水

64年は現能力で

六十三年度は、揚水機七〇〇ミリ一台、四〇〇ミリ二台合計三台で対応しました。揚水計画は二月の揚水調整委員会で審議決定された内容によりましたが、幸いにも降雨量が多く七月は一ヶ月間全く運転せずに終り、又、運転時間も計画通り昼間だけで夜間運転なしという結果になりました。運転台数は天候の状況や水圧をみながら四〇〇ミリ二台又は七〇〇ミリ一台だけ運転というように節約運転に努め、三台共運転は出穂後の一週間程でした。

れ、同時に中央幹線送水管を東へ延ばすための埋設工事を実施します。町の顔ともいえるべき役場前附近一帯が変ぼうするものももうすぐです。関係地先の皆さんの御協力をお願いいたします。

## ◎排水路へ落水が多い!!

三台運転は、面積、用水量からみて能力が余りぜいたくな運転となります。各地域とも水利係の皆さんのお世話を願っています。見回りの結果はどの地区でも田から排水路へ落水が多く目立ち、もったいないという感じです。能力

## 64年は64ha増加

本年は、ほ場整備地区だけで、六四ヘクタール増となります。当然用水量は大巾に増えることになり、運転台数も全力運転や昼夜運転が多くなると予想しています。

### 全開にしない 排水路へ捨てない!

ポンプ能力をオーバーする程度転しても水が出ない、なぜか? 全開箇所が多すぎなのです。六十四年六四ヘクタール増加しても、

十二分に送水能力はあります。しかし関係地区の皆さんの温かい御協力なくしては公平な配水ができません。どうか御理解をよろしくお願いします。

### ◎節水は経費の節減!! ◎泥水流せば土やせる!!

五月連休時の各河川の汚れは一



## 3月

### 改良区役員改選

改良区理事監事の任期(四年)が本年三月三十一日で満了します。三月の定期総代会で選任する定めになっていますので、各字へ役員としての適任者の推せんを依頼しました。改良区事業はいまピークに達し非常に重要な時期を迎えています。緑豊かな農地は両町民全体のかげがえのない財産との認識に立って、低コスト農業の実現と将来の農村環境整備にご尽力頂く方々をよろしくお願いします。

### ▲北陸線下を残し 両側管理設完了

年のうちで最もひどいというデパートが出ています。特に大型機械で代かきのときは、田の排水口は完全に止めてあるか確認して下さい。「水田は水を浄化している」と胸を張って主張できるように一人一人が注意をお願いします。

## 第5回理事会開催

十二月十九日第五回理事会が開催され、六四年度事業計画(前記予算要求)と、一般会計収支補正予算について審議承認されました。補正は長沢農村公園と宇賀野・朝妻築摩工区の換地精算金について、県会計へ一旦納付し、交付を受け地元へ交付するという手続を踏むものです。席上代表監事より月例監査の結果すべて適正である旨報告がありました。

## 編集後記

高気圧の移動のように、事業のウエイトが次第に東へと大きく動き出した一年でした。改良区四地区の最後の地区となった東部南が起工し待望の全地区着工と歴史の一页を記録しました。カントリーの巨大な鉄骨が天を突き、幹線道路の舗装が進み、水清く、緑豊かなふる里が農業基盤確立へ着実な一歩前進の年となることを念じます。乞願・用水豊潤

## 節約代電気は節水

- 1 尻みとから捨てない  
(発見者は水口をとめて下さい)
- 2 畦畔からの漏水をとめる
- 3 排水路へ落さず田越しかんがいに協力する
- 4 代かきは浅水でする